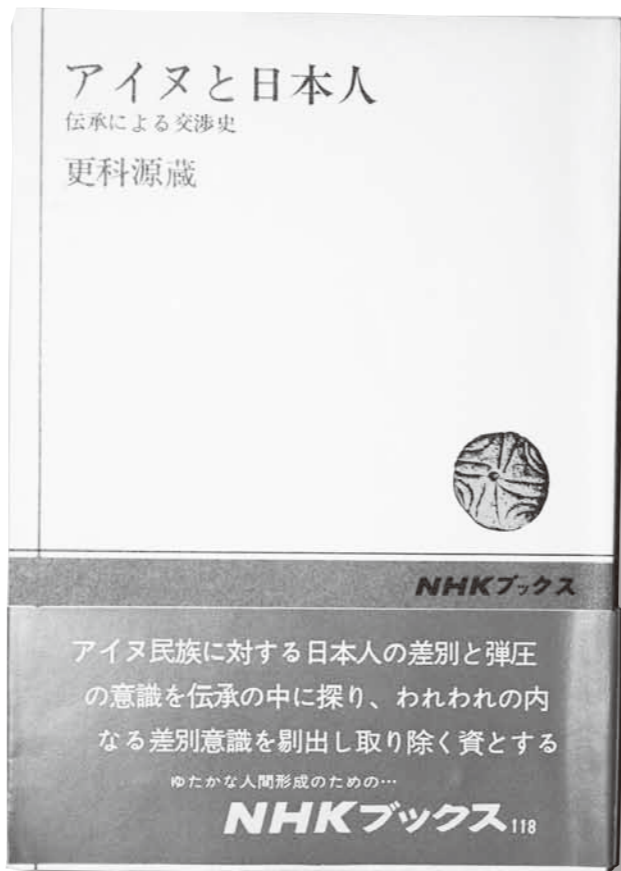




更科源蔵(さらしなげんぞう)
●1904(明治37)年、弟子屈町熊牛原野(南弟子屈)に生まれ、1985(昭和60)年に81歳で逝去。東京麻布獣医学校を中退した後、尾崎喜八、高村光太郎に師事し、詩作を中心に郷土史、アイヌ文化研究など主に文学活動を行った。
▶弟子屈町で所蔵しているさまざまな資料を紹介する。

著書の検印などに使っていた自作のエゾシカ印



『アイヌと日本人—伝承による交渉史』

更科は、尋常小学校高等科の授業で「大和朝廷に叛き日本武尊(ヤマトタケルノミコト)に征伐された賊徒が蝦夷でアイヌの祖先である」と習いました。そのとき教室には下級生のアイヌ系の少年がいて、授業が終わった後、悪童どもがその少年に向かって「蝦夷征伐をやるべ」と、何の罪も理由もなしに追いかけてきます。更科は「それを止めることができずにいた意気地のない自分のことを思い出すと胸のどこかに棘がささっているように痛みだす」と、後年回想します。

更科が、1930(昭和5)年に屈斜路尋常小学校(コタンの学校の代用教員をしていたときのこと、ある日の教育研究会の研究授業が「蝦夷征伐」の内容でした。

更科は研究授業後の質疑応答で「私の学校の父母は全員アイヌであり従って子供たち総てがアイヌの子であり、…蝦夷征伐はアイヌと関係ありますか…」と質問をします。この質問は、当時の日本の歴史教科書に疑問を投げかけることで、国賊的なことでした。これが、代用教員を追われることになる原因の一つになりました。

その後、更科は、1899(明治32)年に制定された「北海道旧土人保護法」という、アイヌ民族の文化に無

理解で屈辱的な法律により保護地となつたコタンを歩き、古老たちからアイヌ文化の聞き取り調査をします。調査のとき、アイヌの青年から「何をいままさら、我々の先祖の恥を調べて…」と罵倒されることもあつたのですが「アイヌ文化はまだ本当に正しく調査されていない。北海道に住む者がやらなければならぬ仕事なんだ」と話をし、協力してもらつたといひます。

『アイヌと日本人—伝承による交渉史』は、日本の古典・歴史書やアイヌ民族に関する文献を調べ、その中にあるアイヌ民族と日本人との歴史の中で、いわれなき差別の根源は何かを探つたものです。

幕末の探検家・松浦武四郎は、蝦夷地調査で実際に見た和人の無残極まりない非道な「近世蝦夷人物誌」に記しましたが、時の為政者から出版を許されず、世に出たのは松浦没後の1912(明治45)年でした。更科は1981(昭和56)年、吉田豊とともに『近世蝦夷人物誌』を現代語に共訳した「アイヌ人物誌—松浦武四郎原著—近世蝦夷人物誌」を出版しています。これも、少年時代に教室で起きた蝦夷征伐の出来事で、悪童たちを止めることができなかったことにぎんげする思いが、ずっと残っていたからなのでしょう。

観光客誘致のためのさまざまな取り組み

摩周湖観光協会NEWS

(社)摩周湖観光協会(木暮敏男会長)では、7月20日～21日の2日間、札幌駅地下歩行空間で「摩周湖の郷てしかがフェア」を開催しました。

道東自動車道の占冠～夕張間開通に伴うマイカーや都市間バスによる誘客増、さらには、旅行業界の課題である「旅行のゼロ回層(1年に一度も旅行や観光をしない層)対策として行ったものです。」「摩周湖ブランド」のPRを行った結果「今年の夏休みに行ってみようかな」「先週、川湯温泉に行つて来たよ!」「20年前に弟子屈に住んでいたから、しばらくぶりに行つてみるかな」といった、数多くの反応がありました。



札幌駅地下歩行空間で行った「摩周湖の郷てしかがフェア」(上) サイクル・ツーリズム北海道推進連絡会の様子(下)

また8月9日には、北海道経済センター(札幌市)で「サイクル・ツーリズム北海道推進連絡会」が開催され、道東エリアから唯一、本協会が参加しました。この連絡会は、北海道商工会議所連合会と北海道運輸局が中心となり、北海道の新たな資源として、サイクリングによる観光客誘致を推進する目的で設立されました。本協会としては、札幌、富良野、倶知安など、サイクル・ツーリズムの先進地である道央エリアの諸団体や事業者との情報交換などを通じて、本町における推進体制の構築を検討していきたいと考えています。

□問い合わせ先／(社)摩周湖観光協会 ☎482・2200まで。



図書館だより

中央2丁目4番1号

☎(よいほんいろいろ) 482・1616

☆特集展示「大震災に学ぶ」

9月1日は「防災の日」です。

防災の日は、1923年のこの日に起きた関東大震災の惨事を教訓とし、防災意識を高めるため、1960年に制定されました。防災の日に合わせて、地震や津波、防災に関する本を展示しています。もしもの時に備え、防災に関する知識を身につける参考に、ぜひご利用ください。

★あなたのオススメ本を教えてください!

館内の「私の読んだ本・好きな本」という掲示板で、利用者の方にお薦めする本の紹介を行っています。掲示板を本選びの参考にしている、楽しんで見ているなど、「好評ををいただいた」と、オススメ本を紹介してみませんか? 「この本が面白かった」「これはお薦め!」など、皆さんの感想をお待ちしています。

- 用紙や書き方は自由です。
 - (用紙は図書館でも、用意しています)
 - 紹介された本は、表紙のコピーを添えて貼り出します。
- (紹介者のお名前は出しません)

新刊案内

- 「決定版 正しい水の飲み方・選び方 100歳まで元気に美しく生きる鍵」 藤田絨一郎/著
 - 「ベスト本格ミステリ2012」 本格ミステリ作家クラブ/選・編
 - 「生きぞこない エリートビジネスマンのどん底からの脱出記」 北嶋 一郎/著
 - 「新 旅ボーン北海道編」 ボンボヤージュ/編
 - 「こどもと絵で話そう ミッフィーとフエルメールさん」 菊池 敦己/構成
 - 「こおり」 前野 紀一/文・斉藤 俊行/絵
 - 「消費税、いったいいくら足りないの? 増税の真実」 辛坊 正記/著
 - 「名言VS名言 賢者の言葉を人生にどう活かすか」 グループ・ニヒト/著
 - 「しあわせの哲学 おじゃる丸のまつたり語録」 おじゃる丸まつたり委員会/編
 - 「木嶋佳苗 危険な愛の奥義」 高橋 ユキ/著
- たくさんのお名前をお待ちしています!

おすすめの新聞

HRKのしあわせ社員食堂
600kcalでも超おいしい・おなか一杯の魔法の社食レシピ

(株)HRK/著

世界一元気な会社HRKのパワーの源は、いったいどこから? 社員みんなが口をたさるって答えた社員食堂「しあわせ社員食堂」の秘密がたっぷり紹介された1冊です。